

第1回 コミュニティ再生ワーキンググループ 議事録

- 1 開催日時 平成25年7月24日(水) 10:00～12:00
- 2 開催場所 市役所 車庫棟2階 教養室
- 3 出席者 委員：日野座長、三並委員、今西委員、竹内委員、沖委員、星加委員、
佐々木委員、藤田委員、桑原委員、渡邊委員、塩見委員、
太田委員、齋藤委員
以上 13名
(永井委員、橋川委員、田那部委員、越智委員 欠席)

アドバイザー：高木助教
以上 1名

市側：関市民部長
総合政策課 篠原主事、清家主事
地域福祉課 三沢課長、安藤副課長
社会教育課 真部主任
市民活動推進課 岡部課長、井上主幹、小島係長、原田主事
以上 10名

- 4 傍聴人数 1名

5 議事録

座長

お待たせいたしました。ただ今から、第1回「コミュニティ再生ワーキンググループ」を開催いたします。

本日は、お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。
本ワーキンググループですが、新居浜市審議会等の公開に関する要綱に基づき、原則公開することとしており、具体的な会議の運営におきましては、事前に開催日時などを市民にお知らせし、傍聴を認めること、また、会議の開催結果について、議事録などを公表することと致しておりますので、ご了承くださいませようお願いいたします。

初めての会議に当たりまして、石川市長が、おみえになっておりますので、一言開会のごあいさつをお願いいたします。

市長 <市長あいさつ>

座長 ありがとうございます。アドバイザーとして、本日、聖カタリナ大学人間健康福祉学部 高木寛之 助教の都合が付き、出席していただくこととなりました。一言ごあいさつをお願いいたします。

高木助教 <高木助教あいさつ>

座長 ありがとうございます。石川市長は公務のため、ここで退席いたします。

<市長退席>

座長 それでは、お手元の次第に従いまして、議事を進めてまいります。本ワーキンググループは、去る6月24日に開催されました「新居浜市政策懇談会」におきまして設置されました。関係団体の実務担当者と関係各課の市職員をもって組織しまして、市政課題解決の具体的な施策を立案し、「新居浜市政策懇談会」へ提案することといたしており、地域コミュニティの再生のため、委員の皆さんのお知恵をいただきながら、具体的なアイデアを取りまとめてまいりたいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、ここで、ご出席の委員さんの自己紹介をお願いしたいと存じます。お手元の資料に名簿がございますので、ご覧ください。

私は、新居浜市連合自治会長の日野幸彦です。よろしくをお願いいたします。

それでは、団体の委員の皆さんから、自己紹介をお願いしたいと存じます。

<委員自己紹介>

座長 委員の皆さん、ありがとうございました。

続きまして、本日出席しております市職員及び事務局職員から、自己紹介をお願いしたいと存じます。関市民部長から順次お願いいたします。

市職員 <市職員委員及び事務局職員 自己紹介>

座長 それでは、次に、「会議の進め方」につきまして、事務局から説明をお願いします。

事務局 <事務局説明>

座長 先ほどの事務局からの説明に対して、ご質問はありませんか。

 <質疑なし>

座長 それでは、次に、「協議内容」につきまして、事務局から説明をお願いします。

事務局 <事務局説明>

座長 それでは、事務局から説明がありました協議内容について、分かりにくいところや、ご質問があればお願いします。

 <質疑なし>

座長 それでは、本日お集まりの皆さん方は各団体から選出された方でございます。今の協議内容について、各団体にあてはまるものがあるかと思いますので、協議内容について、皆さん方のご意見をお受けしたいと思っております。順番に発言をお願いします。

団体委員
(連合自治会) 先ほど説明いただいた資料の中にあるように、加入率の低下が連合自治会の中でも非常に大きな問題になっています。高齢者世帯の増加や、未加入者の自治会に対する期待度、意識が非常に低いこと等、様々な要因が含まれて、加入率の低下が進んでいます。加入率を高めるために、連合自治会の中でも小委員会を設置しておりますが、中々成果が上がっていないのが実態です。

 今後の方向ですが、今、独居高齢者を見守る見守り推進事業という新居浜市の制度がありますが、高齢化が進み、見守りをする人も見守られなくてはいけない年齢で、委員も見つかりにくいという状況もありますので、こういう活動にも今後自治会が取り組んでいけたらと考えております。また、未加入の独居世帯の方にも、こういう活動もしていますよということで説明をして、一世帯でも多くの方に加入を勧めていきたいと考えていま

す。

また、先般から宅建協会の方たちと、アパート・マンション等の入居者に加入を勧めて頂けるというような仕組みを作りまして、先月から開始しています。

今の自治会に対する考え方として、いわゆるメリット・デメリットで考えようとする人が多いですが、そういった問題ではなく、自治会組織というのは、要は相互扶助、お互いが助けたり助けられたりという考え方でこれから存在価値を高めていく必要があるのではないのでしょうか。特に災害等、地域で困ったことが発生した時こそ自治会が力を発揮して、その存在意義を高めていきたい。そういったことを未加入者にアピールしながら加入率を高めていきたいと考えています。

団体委員
(公民館連絡協
議会)

公民館としては、コミュニティ再生と公民館の役割をどのようにつなげていけばいいかを検討していかなくてはいけないと思っています。公民館は、従来は予算がついた部分の活動を主にやっていたのですが、それだけではなく、やはり地域の課題をいかに見つけて解決していくかということが一番大事なのではないかと思います。進めていくに当たって、自治会には大きな協力を得なくてはできませんが、色々な組織作り等をやっているながら、ともに地域の人材を活かし、自治会は自治会、公民館は公民館と分けずに、地域活動をみんなで一緒にやろうという方向で取り組んでいきたいと思っています。

団体委員
(公民館連絡協
議会)

公民館の方向性等は、先ほどおっしゃっていた通りです。現場としては、単に言われていた仕事をしたり、市とのパイプ役だけを担うということではなく、縦のつながりだけだった各種団体の横のつながりの拠点として公民館が活動していけたらと思います。地域コミュニティの拠点として活動していけるように、今後職員研修等をやっているように、校区の拠点であるべき公民館という、新しい公民館になれるように進んでいけたらと思います。

団体委員
(老人クラブ連
合会)

高齢者の立場から今の状況についての考え方を申し上げます。まず、老人クラブの組織率は、高齢者は増えているのに、加入する人が少なく、自治会と同じようにだんだん低下しています。そして世話をする人がおらず、休会したり解散に追い込まれるところもあり、高齢化が進む中で必要な組織でありながらこういった傾向にあるということを大変危惧しています。かつては会員数50人以上というのが、県の補助金の一つの基準になって

いましたが、今や会員数30人くらいのところも出てきており、県もその基準を修正すると聞きました。

高齢者社会が進んで、高齢者は元気で長生きしたいという気持ちでいっぱいです。元気であるためには、一步踏み出して、生きがいを見つけて健康に生活することが必要です。入院や、施設を利用するとなると、市にとっても個人にとっても、費用的な負担は大きい。元気で長生きする、医療費を少なくするためには、元気な高齢者をより元気にする方法を検討していく以外にないと思います。

また、元気な高齢者が弱い高齢者を支えるという相互支援活動の推進もしていこうと思っています。このために私は色んな支援を市、各諸団体が仲良くまとまって、お互い補完し合いながら助け合っていくということが一番大事ではないかと思っています。

団体委員
(地区防犯協会)

防犯協会関係で、以前防犯協会の補助金が削減されてから協会の活動もそのころに比べて低調になっているような気がします。また、防犯協会の活動が孤立しているような気もしており、もっと公民館や連合自治会等と抱き合やすような形でやれば、もう少し活発な活動ができるのではないかと思うのが一つです。

もう一つは防犯灯の件ですが、補助制度が市のものと防犯協会のもので二本立てになっており、行政の縦割りの典型的なものではないかと感じています。もう少し上手に調整すれば効率的な防犯灯の設置ができるのではないのでしょうか。また、これは一つの例であって、各団体に聞けば他にも同じようなことが出てくるのではないかと思うので、今回のワーキンググループにおいて、そういった点について解決できたらと思います。

団体委員
(女性連合協議会)

現在女性連合協議会には、市内の約30近い団体のメンバーが参加していますが、新居浜市、また地域の発展にどれだけ貢献できるか、ということでそれぞれが女性意識向上のためにがんばっています。女性フォーラムをさせていただいたり、また市長の施政演説を聞かせて頂いたりしながら、それぞれが触発しあいながら地域づくりを推進していきたいと思っています。

また個人としては、現在、自治会で防災訓練を行っても、未加入の人がいるので本当に一部の人しか集まらない状況ですが、実際に地震が起きた時には全体が関わることなので、どのようにすれば一人でも多くの方が取り組める、また効果的な訓練ができるのかを、やはり市の方と協力し合いながら考えなくてはいけないと感じました。

また、少子高齢化していく中で、どれだけ若い人・子どもたちの意識を高めていくかというのが今後の課題ではないかと思えます。

団体委員
(社会福祉協議
会支部)

地域福祉を日頃預かっているものとして悩ましいことが何点かあります。一つは、運営をするのに必要な財源の確保。特に大きな財源が特別会員会費ですが、この件では大変お世話になっている自治会の加入率も減ってきており、右肩下がりとなっています。こういった状況で、将来的に我々の力で地域の福祉活動ができるのであろうかと危惧しております。

もう一つは支部を運営するために必要な人材。表に出てこないのか、人材を発見していないのか、割合非協力的な人が多いように感じます。それと市の職員さんの自治会加入率はかなり高いようですが、地域で実施するイベントについては割合顔を出してくれません。

また、見守り推進員さんについては、先ほど話があったように、見守ってもらわなくてはいけない年齢の方が見守り推進をしているという状況で、欠員が出た場合、それを補助するための人材探しに苦労しています。委員の選任について、民生委員の場合は推薦準備委員会を立ち上げて、それなりの組織で人選をしています。それでも人が見つからなくて困っています。それが、見守り推進員については市の事業でやっており、実費弁償費をもらってやっていますが、人員はあくまで地域の社協支部が苦労して探さなくてはならないことに、私は少し矛盾を感じています。その辺りも、行政の力を多少借りたら助かるのではないかと考えています。

団体委員
(青年会議所)

我々青年会議所は、地域活性に向けて、いわゆる市民、社会の意識変革を起こすことを大きな目的に活動しています。ですので、今回の地域コミュニティの再生というのも、本当に地域が抱える大きな問題であろうと思うので、問題解決に向けてしっかり活動しなくてはならないと改めて感じた次第です。

もう一方で、青年会議所は40歳までの団体なのですが、卒業していった先輩方がPTA等、色々なところで活躍されているという話を聞きます。そういう地域のリーダーを育てていくという意味でもお役に立てるのではないかとお話を聞きながら思っておりました。今後、市民の皆さんの意識を変えて、地域のコミュニティの重要性というのを訴えかけていくような活動をやっていきたいと思えます。色々のご協力をお願いします。

団体委員
(食生活改善推

私たちの活動としては、ボランティアで、健康寿命の延伸や、生活習慣病の予防、また検診・受診のアピール等をして、できれば国保等、色々な

進協議会)

医療費の削減を含みまして、みんなが元気で長生きできることを目指して活動をしております。

会員は同じように皆さんの自治会にも所属していますし、公民館運営審議会や、公民館活動、また子どもの子育て支援等、色々な活動において応援できるところは応援させてもらっていますので、今後コミュニティの再生という分野についても応援していきたいと思っています。

団体委員
(民生児童委員
協議会)

先ほども話がありましたように、今はちょうど民生児童委員改選の推薦準備会の最終段階に入っています。年齢の下限も68歳に引き上げたのですが、やはり役員のなり手が少ないのが現状で、どのようにして役員になって頂くか、色々と考えなくてはいけないと思っています。

それと、災害時、いざ助け出さなくてはいけないという時に、自治会との日頃のコミュニケーションがなければ、民生委員だけでは助けることができないのではないかという話も出ており、特に自治会さんとの深いタイアップ、協働が必要だと感じています。

もう一つは、見守り制度です。私個人の意見かもしれませんが、やはり今の制度ではどうかと。やはりみんなで見守るという制度を早く取り入れて、ただの見守りさんとか、民生さんとか自治会の役員さんではなく、色々な方法を考えて高齢者の見守り制度を作っていかななくてはいけないと思っています。

そういうことで、やはり民生委員の立場としても各種団体との協働をしながら進めていきたいと思っています。

団体委員
(環境市民会議)

環境市民会議とは、新居浜市、市民の方それから事業者の方が環境問題を自らの問題として活動する団体組織です。今、世の中というのは環境問題を外して考えるわけにはいかないような時代になっておりますが、こうした問題を啓発していくためには、当然、市・公民館・自治会等の協力が不可欠ですので、今以上に自治会組織や公民館組織が交流して頂ければ、環境問題を啓発していく我々にとってもありがたいことと考えております。

また、私個人としても、ここにいらっしゃる市民部長や公民館長と、泉川まちづくり協議会という住民主導の組織を作っており、一つの部会の会長として、環境問題や小・中学校での問題について、お互いに知恵を出し合いながら解決を図っていますが、そういった問題の中にも当然企業として参加して協力していかなくてはならないものもあり、私たちはそういったものにも取り組みながらやっております。

公募委員

このような活動を、今後色々な地域、公民館の中でやっていけばコミュニティ活動もうまく活性化されていくのではないかと考えておりますので、また何か参考になる面がありましたら発言させて頂きたいと思っております。

現在私自身が感じているところは、地域の活性化、特に自治会内に非常に活気がないということです。何事をするにしてもなんだか押し付け合いのような状態で、もっと地域の方が自分たちの地域は自分たちで守っていこうという風に意識を改革してほしいと痛切に感じています。

例えば先般、老人会の会長が引退された時、色々と当たりましたが後任が見つからず、当分休会ということになりました。すると高齢者の方から、高齢者というのはどこにも出ていくことができないし、やはり年に2、3回くらいは自治会に集まって、顔を合わせて情報交換をしたいという意見が出て、他にする人がいないのならと、女性の会が立ち上がり、年に2、3回、イベントをするようにしました。これには皆さんとても喜ばれて、こういう活性化が必要だ、今後もやってほしいと言ってもらいました。

このように、自治会や公民館、市がどうにかするだろうか、そういう考えでなく、自分たちのことは自分たちでやっていこうという気持ちがとても大事だと思います。それが非常に私たちの地域では欠けておりますので、今後地域を活性化するために、どんなことをしたらいいか、地域の人がもう少し力を出して、色々と検討して、一つでも良い方向に向けていけたらと思っております。

座長

ありがとうございました。それでは、他に全体ではありませんか。

私も連合自治会をさせてもらっていますが、自治会は、要は向こう三軒両隣で発想した団体でございます。皆さんの団体もそういう感覚が多いのではないかと思います。そういうことで、やはり地域の活性化というのが大事でございます。

そしてもう一つ、今、地域で女性の自治会長というのは本当に数人で、連合自治会の組織は男性ばかりの世界となっております。そこで、今年から女性部を作ろうと、女性部立ち上げのための組織を設置いたしました。正直な話、女性がいないと男性だけではできないことが大半で、実際に動いてくれるのは女性です。動くということが一番大事だと思いますので、連合自治会もそういう組織を今年一年で立ち上げたいと思っております。

もう一つ懸念しているのは、連合自治会を組織する自治会の規模が減っていることです。お互いを助け合うコミュニティ組織である自治会の規模が減るということは、災害等のあらゆる問題において、市にとっても、住

民にとっても良くないことだと思います。

平成16年の災害については、新居浜市の中でも一部の地域が被害を受けたということで、市職員も対応でき、また他の地域と助け合うことができましたが、南海大震災となれば、新居浜市全体どころか、県全体が被害を受け、行政が行って助けられる状況ではなくなります。そういった住民同士が助け合わないといけない状況下において、コミュニティ組織が一番大事ではないかと考えています。

新居浜市は、県の中でも自治会活動が一番活発ですが、それは地域と行政とのつながりができているからだとは私は認識しており、今後もそれを勧めて頂くことでよりよい地域になっていくと思います。特に今度の石川市長は地域の活性化を重要視していますので、今回皆さんにお知恵をお借りし、より良いものを作っていければと思っています。

高木先生から何かございますか。

高木助教

いくつかありまして、まず最初に自治会のことについて言えば、加入率が現在67%ということで、皆さん低いという風におっしゃいますが、外から見ると7割というのはかなり驚異的な数字ですので、そんなに悲観的になることはないと思います。もちろんもっと下がるかもしれないのでそこは考えなくてははいけません。

それと、皆さんから意見が出てきた、なり手がいないという問題ですが、何かをやる時に、我慢大会になっているのが現状だと思います。我慢してどうしようもなくなってつぶれていくのか、誰かが手を挙げて、手を挙げた人に皆さんがよりかかっているのかが、うまくいっていない地域の実情になっているのかなと思います。そう考えると、少し厳しい言い方をすると、若い人に頼るなど、自分たちでやらなければいけないことも多々あるということです。

国勢調査の結果を元に、新居浜市の人口変動を見ると、高校生、大学生世代でごっそり人がいなくなり、その後、大学を卒業した世代で人口は増えます。ただし、30代後半くらいからまた少し減ります。これは転勤等で新居浜に来ていた人だと考えると、地元に残って、ずっと住んでくれる人が誰かというのをしっかり見なくてははいけません。そして、残ってくれる人をどうやって捕まえるのかということと、その人にあまり頼りすぎないということを考えなくてははいけません。では、頼り過ぎないためにどうするかですが、ひとつは行政の、地域のリーダーに対する支援が考えられます。そしてもう一つは社会福祉協議会が大きな役割を担っていると私は考えています。社会福祉協議会は、地域福祉推進の正に中枢になるところ

で、行政とも、他の団体ともパイプを持っているし、地域福祉の専門家が
いるところとして国は捉えていますし、全国の社会福祉協議会も、介護事
業所ではなく地域福祉を推進する場としてやっていこうと打ち出していま
す。そういう意味で、中心になっている人たちを支える機能を、行政と社
会福祉協議会には担ってもらい、ここにおられる他の各団体というのは、
正に中心のリーダー格ですので、その人たちと一緒にやっていくこ
とが出来ればいいかと思います。

最後に、今日の話を知っていると、自治会と民生委員等、皆さんかなり
役割が重複していますね。重複していることで、情報の共有はできますが、
広がりや少なくなくなるので、重複しているところをスリムにして、色ん
な人が関わっていけるようにすることも大事です。そうでないと、地域
の中で何でも知っているスーパーマンと、何にも知らない人との差が出来て
しまうので、そこを少し調整していくということも皆さん一緒にこうやっ
て集まっているので、考えることができるかと思っています。

座長

ありがとうございました。今回は団体ということで意見を出して頂きま
したが、次回からは皆さん方自由な意見で参加して頂ければありがたいと
思います。

それでは、次に、「先進地の調査研究」につきまして、事務局から説明を
お願いします。

<事務局説明>

座長

それでは、先進地視察に参ります第1グループと第2グループの4名ず
つのメンバーをここで決めたいと思います。それぞれの詳細につきまして
は、決定したメンバーの方に会議終了後、お残りいただきまして、打ち合
わせをお願いします。

まず、第1グループは、自治会1人、公民館1人、総合政策課1人、市
民活動推進課1人ですが、どなたが行かれますか。

<第1グループの4名のメンバー決定>

日野座長、今西委員、清家主事、井上主幹

座長

次に、第2グループは、福祉関係団体1人、公民館1人、地域福祉課1
人、社会教育課1人ですが、どなたが行かれますか。

<第2グループの4名のメンバー決定>

星加委員、竹内委員、安藤副課長、真部主任

座長 それでは、その他としまして、これからの会議の日程の予定を決めておきたいと思います。事務局から説明をお願いします。

<事務局説明>

座長 以上の予定で進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。
それでは関市民部長から一言頂きたいと思います。

市民部長 本日は色々な意見を聞かせて頂きまして、これから先の新居浜市のコミュニティ再生のあり方について、非常に大事なことをつかませてもらったと思います。

今日話を聞く中で、こうやって色々な組織が集まってざっくばらんに話のできる機会がまだまだ少ないと感じました。縦の流れの中で動いていたものを、いかに横につなげていくか、また組織をある程度まとめて、広いものにしていくかがやはり大事なかなと思ったのが一点。

そしてもう一点は何が市民にとって大事なることか、今日のお話の中で色々つかませてもらったと思います。健康寿命を延ばすこと、災害時にみんなが助け合うこと。それは誰にとっても大事なことで改めて感じました。そういったものを解決していったら、多分コミュニティの必要性が高まって、加入率も間違いなく上がるのではないかと教えて頂いたように感じます。

それから後になってしまい、また手渡しでなく申し訳ありませんが、お手元に委嘱状を配らせて頂いております。今から色々とお手数をおかけしますが、忌憚のない意見を寄せて頂いて、新居浜市のためにお力を貸して頂けたらと思います。

座長 本日は、貴重なご意見ありがとうございました。
次回からは、視察に行かれます2つのグループの結果報告も交えながら、協議をすすめてまいります。

それでは、以上で第1回「コミュニティ再生ワーキンググループ」を終わります。

委員の皆様には、今後も、ご協力をよろしく願いいたします。本日は、大変お疲れさまでした。